

宮崎県漁業協同組合連合会

代表理事会長 是澤 喜幸

新年、明けましておめでとうございます。

皆様には、清々しい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルスがようやく5類へ移行しマスク着用も個人の判断となりました。親戚や知人等との久しぶりの再会や国内旅行の規制緩和などコロナ前の生活を取り戻しつつあります。しかしながら、海外に目を向けますと、ロシアとウクライナの戦争は未だに終息を迎えていない中、今度はイスラエルと武装組織との戦争も勃発、世界情勢がさらに変化した1年となりました。多くを輸入に頼っている日本において石油製品、食料品や生活必需品のほとんどにおいて値上げが続いており、生活に大きな影響を受けております。



国内においては9月にALPS処理水の海洋放出が開始されました。それに伴い、国外の一部では日本産水産物の輸入を禁止する措置がとられるなど漁業者への影響も大きく、本県漁業者も例外ではない状況にあります。本会と致しましても風評被害を払拭し漁業者を支え、魚食普及の観点からも国内消費を増やしていく必要があります。そのため、県や関係機関、消費者の皆様のお力をお借りし難局を乗り越えたいと願うところであります。

昨年の県内漁業生産につきましては、天候不良、漁獲不振など続いておりますが、一昨年と比べ一部の漁業種類を除き数量、金額ともに増加しております。なかでも近海かつお1本釣りにおきましては、本県所属船である竜喜丸（JF南郷）が漁獲高日本一に輝くなど大変喜ばしいニュースもございました。船主、船頭、船員の方々、組合役職員の方々のたゆまぬ努力の結果であり、敬意を表すところであります。大臣許可まぐろ延縄漁業においては2022年1月より個別の公的IQ制度が導入され、年の途中で割当上限に達する漁業者が多く思うような操業がかなわない状況が近年続いております。本会としましても資源状況を加味しつつ、漁獲量の増枠に向け継続的に国に対し要望を行ってまいります。

石油情勢につきましては、国際情勢やエネルギー需給見通しの変化などを受け日々変動しております。国が実施するセーフティーネットの発動についても原油価格高止まりの影響で補填発動が続いております。また、「燃料油価格激変緩和補助金」においては本年4月末まで措置継続が決まっておりますが、燃油価格の変動は漁業経営を左右する大きな柱となっていることから、動向を注視しつつ今後も一丸となって声を挙げていく必要があると考えます。

本会につきましては、製氷設備の老朽化により更新を進めておりました宮崎製氷工場につきましては昨年3月に工事完了、北浦製氷第一工場におきましても本年3月の完成に向け工事を進めております。今後も漁業者への安定供給はもとより県内の各工場と連携した供給体制の円滑化に努め、尚一層漁業者の負託に応えていく所存であります。また、販売事業においては事業を細分化するため3課体制とし、大手コンビニエンスストアや寿司チェーン店との商品企画、販売を行った他、ECサイトを活用した加工品販売を進めるなど県内水産物消費拡大、付加価値向上の取り組みを強化致しております。今後もさらなる魚価向上、安定供給に向け取り組んでまいります。

さらに、本県水産業における漁業就業者の高齢化や後継者対策、人員不足等解決し組合員の所得向上に貢献できる組織づくりとして宮崎県一漁協体制を掲げ、2025年4月1日「JFみやざき

」の設立に向け現在、協議会・各部門委員会・JFにて検討協議を進めております。本県漁業者の皆様を将来に亘って支えうる組織づくりを引き続き目指してまいります。

本会は、協同組合の理念の下、会員との連携を一層強化し、本県の漁業の発展を図るため、負託に応えて参ります。

最後になりましたが、皆様方のご健勝と航海の安全、豊漁をご祈念申し上げまして、新年の挨拶と致します。